



Yochu-JUMP

第10号



与那原中学校 (Y) 授業力 (J) アップ (Up) 元気 (Moxie) プロジェクト (P) R6.2.1発行

Yochu-JUMPもおかげさまで第10号発行となりました！これからもなるべくたくさんの先生方の良い実践を紹介していきます。バックナンバーもHPで掲載しておりますのでご確認ください。

課題解決学習 × 手作り実験器具 = 理科の楽しさ

手作りの実験器具を活用して「季節がなぜ生じるのか？」を考えさせる授業を参観させていただきました。まず、夏と冬の違いについて太陽の動くコースや昼夜の長さの違いという視点から考えさせ、しっかりと**本時の課題を設定**できています。**課題解決のために実験**を行うという**理科の基本的な学び**が徹底されています。

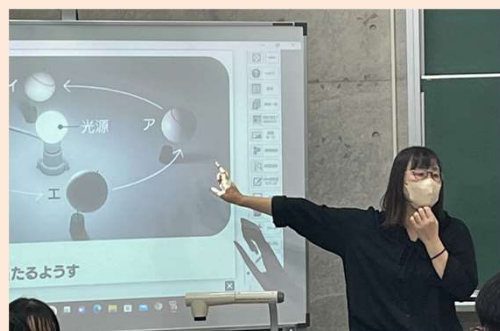
また、手作り実験器具には以下のような良さが見られました。

- ①地軸の傾いている方向と太陽との位置関係が簡単に設定できる
- ②地球が太陽に照らされる範囲がメモリの読み取りで簡単にできる
- ③地軸が傾いていない場合についても設定・測定ができる

上記のように、**シンプルに操作できるように工夫**されていることで、生徒は本時の課題についてじっくり考えることができ、実験後の**考察活動に結びつける**ことができます。

さらに、単元ごとに作成している**Before & Afterシート**を活用することで、**単元で身につけさせたい資質・能力を意識**させるとともに、その見取りを通して評価に生かしている様子が見えます。「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、どの教科も試行錯誤中かと思えます。理科の実践を参考にしてみたいはいかがでしょうか。

理科 鎌田 美乃里 先生



手作り実験器具で熱心に実験に取り組んでいます！

“楽しい” 試行錯誤 → プログラミング的思考の育成

プログラミングでロボットを動かすという授業を参観させていただきました。導入では、尊先生が羽田空港で撮影した移動用モビリティを紹介することで、**生徒の興味・関心を高める工夫**をしています。

プログラミングをしたマシンに、シンプルな直進→左折をさせたいのですが、見ていてもこれがなかなか難しい！生徒が**試行錯誤しながら、夢中に取り組む姿はまさに学びの理想的な姿**であると感じました。

また、マシンが思うように動かないときも、すぐに解決方法を教えるのではなく、**原因を考えさせる声かけ**を行っています。この授業を通して生徒に「**プログラミング的思考**」を**身につけさせたい**という尊先生の**願い・姿勢**がしっかりと伝わってきました。

授業の終末では、冒頭のロボットの話に触れ、そのプログラミングの複雑さや大変さについて触れたことも良い構成でした。生徒は世の中の**技術の素晴らしさについて実感**できたのではないのでしょうか。

技術科 真保 栄尊 先生



ふちっと DTK 道徳の授業で使える話題（歌・言葉・本など）を紹介します！



♪この体だけの鼓動を この胸だけの感情を
音符のひとつ 言葉のひとつに変えて
繋げて見つける はじめの唄
止まるまで続く鼓動を 名付けようのない感情を
心が望むとおりの声に乗せたら
ようやく気付けたよ 同時に響く声

窓の中から／BUMP OF CHICKEN

2023年のNHK「18祭（フェス）」のテーマソングとして製作されたBUMP OF CHICKENの楽曲です。孤独を抱えて苦しんで生きているのは自分ひとりではないんだよという希望溢れるメッセージを伝えてくれます。10代の若者たちが涙を流しながら歌う本編映像はとても感動的です。「希望と勇気」「よりよく生きる喜び」の内容項目にマッチするかもしれません。